

昭和43年の町制施行から 邑楽町 50年

昭和43年(1968)4月1日に町制を施行し、誕生した邑楽町は、平成30年4月1日に町制50周年を迎えます。町では、これを記念して、一年間にいろいろな記念事業を計画しています。

おうちから、たのしいまち

昭和30年3月に中野村と高島村が合併して中島村が発足。翌年9月に旧長柄村が加わり、昭和32年1月に邑楽村が発足。その後、工業の発展や住宅団地の造成によって人口が増加し、昭和43年4月1日に町制施行し、邑楽町が誕生しました。

町の発展や自然文化の保存のためにたくさんの方々が力を尽くし、さまざまな課題を乗り越えてきました。そんな先人たちが築きあげた歴史や文化を受け継ぎ、次代を担う子どもたちが夢や希望を持ち成長することを願い、邑楽町第六次総合計画のまちの将来像である「やさしさと活気の調和した 夢あふれるまち」の現実と町の発展を誓い、今年一年を通して、記念事業を実施します。今後、広報おうちらなどで随時お知らせしていきます。



町のシンボルを振り返る

町制施行から50年。邑楽町を誇るシンボルタワーをはじめ、いくつかあります。そのシンボルがいつからこの地に始まったのか、振り返ってみます。



平成5年(1993年)

シンボルタワー

タワーは平成5年に完成し、今年の1月には来場者35万人を達成。正式名称は「シンボルタワー未来MIRAI」。

平成3年(1991年)

おうち祭り

第1回目のおうち祭りは、平成3年に開催されました。その前身であるのが、昭和46年に始まった邑楽町納涼祭だったそうです。

昭和53年(1978年)

白鳥

邑楽町に初めて白鳥が飛来したのは昭和53年。初めは2羽でしたが、今や200羽を超える飛来数に。過去最多は平成17年の601羽です。

昭和41年(1966年)

白菜

邑楽町が県指定産地になったのが、昭和41年といわれています。今では「邑美人」というブランド白菜として、東京近郊にも出荷されています。

昭和20年(1945年)

そば

町で粉食文化が発展したのが江戸後期。現在は「そばの町おうち会」として、町内外にPRをしています。町で一番古いそば店は昭和20年創業。



昭和43年(1968) 町制施行

邑楽町

邑楽村

節目の年、そして次の50年へスタート 邑楽町長 金子正一

邑楽町は、4月1日に昭和43年の町制施行から50年を迎えます。

町制施行から今日までを振り返ると各公共施設の建設、道路、橋などの生活環境整備の推進、子育て・教育環境の整備や文化・スポーツの推進、健康づくりや高齢化社会に対応した福祉の推進などを重点に、住みよいまちづくりが進められてきました。

しかし、決して全てが順調にきたわけではありません。台風や集中豪雨など、度重なる自然災害による家屋や農作物の被害があったことも決して忘れてはなりません。

いかなる困難なときにも町民の皆さんは、夢や希望を捨てずに、お互いを励まし合いながら、強い絆と郷土愛で難局を乗り越えてこられました。

その絆と郷土愛が、過去から現在へ受け継がれて今日の礎が築かれてきました。そして、現在から未来に向け、絆と郷土愛の醸成をより一層図るため、記念式典をはじめ、さまざまなイベントを企画して町民の皆さんとともにこの節目の年をお祝いしていきたいと思

ます。中でも、町民の皆さんの永い間の念願でありました中央公民館がいよいよ完成いたしました。現在、9月の開館に向け数々の準備事業に積極的に取り組んでいます。開館後も生涯学習活動の拠点として、町民の皆さんに大いに利用していただき、文化活動を盛り上げていただきたいと思います。

邑楽町には先人たちが培ってきた人の心の豊かさ、笑顔、そして多々良沼公園や中央公園などの素晴らしい自然もあります。このように素晴らしい町、未来のある町を、町民の皆さんとともにさらに躍進させ、町に暮らす誰もが未来に向かって夢と希望が持てる「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち」おうちらの実現に向け、次の50年へ向けたまちづくりのスタートにしたいと思

今昔

広報おうちらで振り返る あるところの

■町民体育祭

第13回の町民体育祭の様子。街並みや風景は、時代の流れとともに変わっていきいますが、町民体育祭の活気は今なお残っています。当時の記事には「午後の対抗リレー決勝の熱気は最高潮に達す」とあります。ちなみに、この年の優勝は男子が天王元宿、女子が坪谷だったそうです。



昭和46年(1971)広報おうちら10月号(No.63)より

■本中野駅の北(足利・邑楽・行田線)

この場所は、本中野駅から北へ向かう交差点のところ。当時は「中野銀座」と呼ばれ、駅から商店が続き、人でにぎわっていたそうです。当時の写真の左側の電器店は今も建物が残り、右側の電器店とスーパーは別の建物に変わっています。ただ、道路の雰囲気は今も変わりなく残っています。



昭和47年(1972)広報おうちら7月号(No.71)より

■邑楽町公民館(中野)

邑楽町公民館の完成当時の写真。まだ舗装前で、公民館周りの植木もなく、まっさらな状態。左奥には、旧中野中学校の校舎も見えています。当時の邑楽町公民館には、結婚式場や浴室などの設備がありました。また、ホールでは成人式典などのイベントも行われていたそうです。



昭和48年(1973)広報おうちら5月号(No.79)より



平成30年4月1日、邑楽町は町制施行 **50** 周年を迎えます

問合せ先▶役場企画課 ☎47-5009